

IV 事業概要

3 社会教育事業

【1 生涯学習に関すること】

(3) 自然観察会

①「焼河原の化石」(4月21日参加者数85名)

泉区西田中焼河原地区に露出する竜の口層は、タカハシホタテやセンダイヌノメハマグリ、タツノクチサルボウなどの貝類を中心に寒流系の海の生物の化石を多産するとともに、上部の向山層からは高温型石英や軽石なども採集でき、当時の環境について理解を深められるフィールドである。また、採集地を流れる西田中川は比較的水量も安定していた。河床に広がる化石も発掘が可能であり、参加者は約2時間の活動で多くの成果をあげることができた。



応募者が多いイベントのため、平成30年度から午前・午後の2回の実施としている。

②「川崎鉱山跡の鉱物」(5月26日 野生猿の群れ出没のため中止)

川崎町西部の川崎鉱山跡を採集地として鉱物採集会を予定していたが、直前の下見で野生のサルに群れに遭遇したため、安全面を考慮して中止とした。

本事業は応募者が多いため、平成30年度から午前・午後の2回の実施としている。

③「台原森林公園の昆虫」(7月7日参加者数18名)

宮城昆虫地理研究会から講師を招き、昆虫についての講義をいただき、講師の指導の下、標本作りを行った。午前中は、台原森林公園で昆虫採集を行い、ナツアカネなどのトンボやチョウを採集した。今年は悪天候が続き、当日も曇り空だったためか、採集できた昆虫は少なかった。午後は昆虫に関する講義の後、研究会が持参したチョウで展翅の練習を行い、参加者が自分で採集した昆虫の展翅も行った。指導経験豊富な講師の説明は大変わかりやすく、展翅板を使った本格的な標本作りは初めての参加者に大変好評であった。作製した標本は乾燥が必要なため、後日行われた昆虫相談会の際に持ち帰ってもらった。



④「茂庭層の化石」(10月20日 河川増水のため中止)

太白区北赤石の名取川河床に露出する茂庭層での化石採集会を予定していたが、記録的な大雨による河川増水のため、安全面を考慮して中止とした。

本事業は応募者が多いため、平成30年度から午前・午後の2回の実施としている。